区議会
第３回
定例会

憲法9条守ろう 草の根から声を
「戦争する国」許さない

高市政権は、敵基地攻撃能力の強化やGDP比3.5%・24兆円の大軍拡、武器輸出全面解禁、非核三原則の見直し、憲法９条改憲など、「戦争する国」づくりに執念を燃やしています。

田中まさや幹事長は代表質問で、国会前や全国に草の根でひろがる９条守れの運動を示し、９条を守ることを国に求めるよう長谷部区長に迫りました。



空襲被害者に見舞金を

太平洋戦争の空襲等で身体障害などを負った被害者に補償を行う空襲被害者救済法が超党派で先の国会に提出されました。

渋谷区でも世田谷区や葛飾区のように空襲被害者等への見舞金支給を求めました。

- 世田谷区：　１人３万円
- 葛 飾 区：　１人10万円



幡ヶ谷２丁目で「改憲反対」の声を上げる
喫茶 「壁と卵」。#小さなお店デモ を呼びかける

義務教育の保護者負担ゼロへ　給食費は私立等も補助を

学用品費、修学旅行・移動教室費、制服など無償に

日本共産党区議団は、2024年から毎議会で教材費、修学旅行費、移動教室、制服の無償化を提案し続けています。

今定例会で党区議団は、これらを実現する議員提出の条例案を共同提案しましたが、自民党、シブヤ笑顔、公明党などの反対で否決されました。

憲法26条の立場で、すべての子どもの世帯を無償に

いがらし千代子議員は、議員提出の条例案の賛成討論をおこないました。



- **区長や自民党などが主張**
  支援は、真に必要な世帯に重点化
- **いがらし議員が討論で反論**
  分断を持ち込まず、すべての子どもへの支援が憲法26条の立場

23区で無償化に踏み出していないのは、渋谷区など4区だけ

無償化の対象	実施区数
学用品費	11区
修学旅行費	12区
移動教室	11区
制服代・入学準備金支給	4区
区立以外の学校給食費補助	4区

- **墨田区の実施理由**　「教育内容の充実。誰一人経済的な理由で参加できない児童・生徒が出ないようにすることが目的」

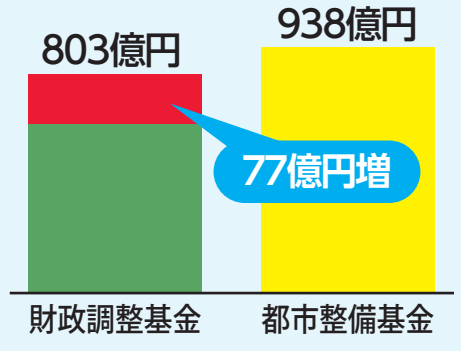
物価高騰からくらし・営業を守る責任果たせ

1741億円の基金も活用して、物価高騰対策を

区が提案した一般会計補正予算（第２号）には、物価高騰対策はなく、昨年度の繰越金で財政調整基金を77億円増やし、「遠くて不便」な河津保養所を54億円で建替えるための設計費用を計上するなど、くらしを守る区の責任を投げ捨てています。

基金総額は1741億円に

(9月末現在)



区議団が提案した、くらし・営業支援

①低所得世帯に1万円の給付金支給
②赤字となった中小業者への助成
③ゼロゼロ融資の要件緩和
④医療機関への赤字補填
⑤若者・子育て世帯への家賃助成創設
⑥賃上げのための中小企業支援　など

日本共産党
渋谷区議団ニュース
2026年
区議会第3回定例会号

渋谷区宇田川町１－１ 渋谷区役所内
TEL 3463－1038　FAX 5458－4963
E-mail　info@jcp-shibuya.jp

日本共産党渋谷区議団へのご意見・ご要望を、ぜひお寄せください。
●ホームページ　https://www.jcp-shibuya.jp

介護・高齢者福祉の充実で、いきいき安心のまちに

牛尾まさみ区議団長は一般質問で、介護保険料・利用料の軽減や特養老人ホーム増設などとともに、敬老祝い金の復活や難聴高齢者補聴器購入助成の充実、すべての人のシルバーパスを1000円に引き下げるよう求めました。



敬老祝い金の復活を

敬老の心を取り戻し、見守りの強化へ

区民の声

- 「年金生活者にとってささやかな楽しみでした」（高齢者）
- 「夫婦の片方しか渡せないのは心苦しい」（民生委員）

所得制限を廃止し

難聴高齢者の補聴器購入費助成は14万4900円に引き上げを

所得制限なし　16区
14万4900円まで助成　2区

10万円以上の補聴器でないと機能は不十分
（補聴器販売業者の声）

だれでもシルバーパス購入費を1000円に

ハチ公バスにも使えるように

高齢者の孤立を防ぎ、社会参加の機会確保へ

- 荒川、港、墨田、江戸川、豊島の5区が1000円で購入可能に。
  江東区は2000円に。

小中学校の整備は学校ごとに関係者住民参加で

渋谷区『新しい学校づくり』整備方針のロードマップは、今後28年間に3700億円かけて、22校を建替える計画に変更。あらたに大山公園や広尾小学校プールに仮設校舎を建設する案が示されました。

学校は教育の場であり、地域のコミュニティや防災拠点の役割を果たしています。党区議団は、学校ごとに、関係者・住民の声を活かすよう求め、以下の点を提案しています。

- 猿楽小・鉢山中、千駄谷小・原外中、笹塚小・笹塚中の学校統廃合による小中一貫校化の中止
- 広尾小・臨川小での住民説明会の開催、大山公園の仮設校舎建設中止
- 建替えありき改め、リファイニング建築も検討

住民の声を聞くまちづくりを

玉川上水旧水路緑道再整備は見直し、区が直接管理を

区は、住民や専門家の声を無視し、ベンチ1基360万円など高額なテラゾ材を使い続け、農園も整備しています。さらに、緑道を指定管理にすることで、区の責任を後退させ、住民の声が届きにくくなり、儲けの場になりかねません。

党区議団は、２件の工事契約と指定管理者の指定に反対の討論をおこないました。



工事請負契約の対象の代々木緑道

オリンパス跡地再開発の見直しを

7号通り公園の移設で、マンションの資産価値は高額に

幡ヶ谷２丁目のオリンパス跡地再開発では、三井不動産レジデンシャルの利益優先に絶対高さ制限30mを45mに緩和、７号通り公園を移設する計画を強行しています。

党区議団は、高さ制限の緩和も公園移設も撤回を求めています。

路線価は46%も高額

- 7号通り公園：1150万円／㎡
- マンション用地西側：７９０万円／㎡



マンションの出入口をつくるため移設しようとしている7号通り公園

くらし、福祉、教育優先、住民の声届ける論戦に全力

党区議団は、委員会質疑や本会議での討論など、住民の願いの実現に全力をあげました。



第3回定例会の主な議案と請願の表決結果

請願名	結果	日本共産党（3）	自民党（6）	シブヤを笑顔にする会（6）	立憲・無所属（5）	公明党（5）	しぶや区民（3）	維新・改革（2）	矢ヶ崎議員
令和8年度渋谷区一般会計補正予算（第2号）	可決	×欠	○	○	×	○	×	×	○
玉川上水旧水路緑道再整備工事（その10）及び同（その11）請負契約	可決	×	○	○	×	○	×	×退	○
渋谷区立玉川上水旧水路代々木緑道等の指定管理者の指定について	可決	×	○	○	×	○	×	×退	○
渋谷区立学校等における学用品、標準服及び修学旅行費等を所得制限なく無償化する条例（議員提出議案）	否決	○	×	×	○	×	○	○	×
令和7年度渋谷区一般会計歳入歳出決算	認定	×	○	○	×	○	×	○	○
行政文書の適正な収受・管理に関する調査を求める請願	不採択	○	×	×	○	×	○	○	×